学ぶ子
励む子
元気な子

東つるやま

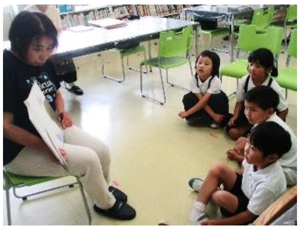
学校便り

備前市立東鶴山小学校
令和７年７月９日 第９号

花いっぱい活動　6/20（金）

本校では、豊かな人間関係を育むため、縦割り班活動の充実に取り組んでいます。6/２０（金）の業間時間に、花壇の花の植え替えを班ごとに行いました。マリーゴールドの苗は、「東鶴山を元気にする会」よりいただいたものです。高学年の児童が下学年の児童に植え方を優しく教える姿、気がついた児童が率先して水やりをする姿、「次は～しよう」と指示を伝える姿、下学年の児童が素直に指示を聞いて動く姿などが見られました。毎回感心するのは、どの児童もふざけたり、他のことをしたりせず、一生懸命に働くことです。東鶴山小学校の児童は、すばらしいです。これからも、縦割り班活動を通して考えて動く力やコミュニケーション力、集団の中での役割意識など育てたいと思います。

１年生 東鶴山おはなし会による読み聞かせ　6/24（火）



今年度も東鶴山おはなし会のみなさんのご厚意により、１年生を対象に読み聞かせを行います。楽しい本や人権について考えさせられる本など、素敵な本を読んでくださいました。どの児童もお話の世界に浸り、目を輝かせながら聞いていました。ありがとうございます。

子どもたちは、どの子も本が大好きです。特に、読み聞かせをしてもらう体験は、子どもの成長に様々な良い影響を与えると言われています。（語彙力の増加、聞く力や理解力の向上、情緒の安定化、自己肯定感の向上など）ぜひ、休日や夏休みには、お子さんに読み聞かせをしてあげてください。

人権の花贈呈式　6/27（金）

↑４色のマリーゴールドと
ガザニアの花がきれいです

備前人権擁護委員協議会の取組の一環として、東備支援学校よりプランターに植えられた花の苗をいただきました。これは、東備支援学校の高等部のみなさんが、種から大切に育てた花です。

贈呈式には、人権擁護委員の横山さんと谷原さん、東備支援学校高等部の教頭先生、担当の先生、生徒さん２名が来校してくださいました。小学校の代表として６年生がプランターを受け取り、「大切に育てます。」と感謝の気持ちを伝えました。また、６年生は、6/30（月）児童朝会で全校児童にこの花の苗について紹介しました。

秋頃、花の種をとり、人権擁護委員さんにお渡しすることになっています。きれいに咲き誇る花にも生命があります。毎日、子どもたちが協力して育てることによって、生命の尊さを実感し、植物に対する優しさや思いやりの気持ちを感じてほしいと思います。

プランターは校門を入った正面にあります。小学校にお越しの際にはご覧ください。